

おはようございます。残念ながら、第2学期の終業式も、新型コロナウイルス感染症防止のため、放送での実施です。本日は大きく3点、話したいと思います。

まず、明日から冬季休業に入りますが、休み中も、新型コロナウイルス感染症に感染しないよう努めてください。規則正しい生活やバランスのとれた食事、適度な運動を心がけ、免疫力を高めましょう。検温等の健康観察も継続しましょう。また、不要不急の外出はしないようにし、外出しなければならない場合、必ずマスクを着用するようにして、人混みは避けてください。さらに、帰宅時には手洗いやうがいを念入りに行ってください。もし、濃厚接触者となるなどして、PCR検査を受けることになった場合は、学校に連絡してください。感染を拡げないためです。ぜひ、協力をお願いします。特に、受験を控えた3年生は、受験勉強も大切ですが、万全の体調で受験に臨むため、共通テストや一般入試に向けて健康管理もしっかり行ってください。皆さんが、志望校へ合格することを願っています。

次に、皆さんの様々な悩みについてです。今年は、コロナ禍のせいで、将来を見通せず、漠然と不安を感じている人が増えていると聞いています。また、皆さんの中には、努力しても成績が上がらないとか、友達との人間関係とか、家庭環境等、様々な悩みを抱えている生徒もいると思います。私としては、様々な悩みや困難な問題に対して、全てを真正面からまともに受け止めるのではなく、時には適度に受け流したり、やり過ぎたりする柔軟性が必要だと考えています。時には、物事をあまり深刻に考えすぎず、鈍感であることも必要だということです。

柔道でよく使う言葉に「柔能く剛を制す（柔能制剛）」という言葉があります。力任せに攻めてくる巨体の相手に対して、小柄な選手が、相手の激しい攻撃を受け流しながら、返し技で瞬時に一本を取るのが、日本柔道の極意ではないでしょうか。

この言葉は、中国の周王朝に仕え、殷王朝を滅ぼした呂尚（太公望）一釣り好きだったことでも有名な人ですが著したといわれる『三略』という兵法書から引用されています。柔らかいものは弱そうに見えても、実は堅いものの矛先をうまくそらして、結局は勝つということです。「柳に雪折れ無し」という我が国の諺と同じ意味です。

また、鳥の骨は、中身が空洞で軽くしなやかな構造となっています。ちなみに、ペンギンやダチョウなど、空を飛ばない鳥は、骨の中身が空洞ではないそうです。鳥が、羽ばたきして空を飛ぶためには、中身が詰まった硬くて重い骨よりも、中身が空洞で軽くしなやかな骨が必要だということです。さらに、世界最古の木造建築物である法隆寺等、我が国の伝統的な木造建築技術では、柱や梁を釘等の金属でしっかり固定してしまう剛構造ではなく、木材同士を「ほぞ」等で組み合わせる柔構造となっています。地震が多い日本ならではの発想だと思います。

悩みや問題を柔軟に処理することが必要だということをぜひ理解してください。ただし、そのようにしても、うまく対処できないような悩みについては、ぜひ、先生や保護者

など、身近にいる信頼できる大人に相談してください。さらに、どうしてもそれが無理な場合は、信頼できる機関が行っている教育相談を利用してください。例えば、埼玉県立総合教育センターが行っている「よい子の電話教育相談」や今年度埼玉県教育委員会が開設した「親と子どもの悩みごと相談@埼玉」などです。前者は、電話・ファックス・電子メールで、後者はLineで相談できます。だれが運営しているかわからないような怪しいサイトなどには決してアクセスしないようにしましょう。

最後になりますが、3学期当初の日程と部活動について連絡します。まず、新型コロナウイルス感染症の防止のため、県教育委員会からの通知により、1月8日以降、始業時刻を繰り下げる可能性があります。また、部活動について、すでに1月3日までは原則中止となっていました。その期間を1月17日（日）まで延期します。詳しい内容については、この後、本校のホームページに文書を掲載するので、明日以降、ホームページを必ず確認してください。

それでは、皆さんが、事件・事故に巻き込まれることなく、有意義な冬季休業を過ごすとともに、1月8日に元気に登校してくることを願っています。以上で私の話を終わります。